

新潟県

平成元年

公民館月報

9月
第 439 号

シリーズ 生涯学習の推進と公民館(4)

実践事例 学習機会の提供—上



佐藤哲三 「稲」

1941 年 油彩 布
80.5 × 65.3cm
新潟県美術博物館蔵

佐藤哲三(1901~1954)は
新発田市出身。終生北蒲原
の地にとどまり、北国の人
と生活と風景を描き続けた
画家である。

「稲」は、昭和16年新発
田郊外の加治川村で制作さ
れた。「農林1号」の副題を
もつ。寒冷地の稲作に適す
る新品種「農林1号」の誕
生は北国の農民に福音とな
った。明るさを増す農村社
会の未来をあどけない子供
の姿に託して、作者は農民
たちに祝意を捧げたのであ
ろう。

問題提起

研修の効率化を考えよう

公民館職員がその専門的な知識・技術を修得するためには、研修の重要なことは言をまたない。そのため本県の公民館界では、個々の公民館で実施しているもの、郡市公連や上・中・下越地区公連で実施するもの、県教委や県公連で実施するものと多様な機会と内容が用意されて

いる。しかし、その多様な研修は、相互の連携や脈絡が薄いため、重複や欠落があつて、必ずしも効率の高い研修になっていない。このため、研修の効率化を

県生涯学習推進部会を設置

去る八月二十五日の庁議で「新潟県生涯学習推進部会」を設置することになった。部会長には知事を、副部会長には副知事と教育長をもって充

てている。また、部会幹部会を設け、関係各課長が幹事に充てられてゐる。さらに部会幹部会を補助するため、必要に応じ、生涯学習推進担当部会を置くことにしている。

部会の事務を処理するため、社会教育課に事務局を置き、社会教育課長が事務局長に充てら

れる。このように検討する必要がある多くの問題を整理し研修の効率化を真剣に考えなければならぬ問題として提起する。驀然たる意見の展開を期待する。

目・内容は、昭和61年度に新潟大学社会教育研究室が当県公連と共同で実施した「公民館職員の専門性調査」の質問項目に、若下の追加をして作成したものである。表中の数字は、当公連評議員諸氏の割り振り意見を聴取した結果である。表の区分のうち「県教・公」とあるのは県教委又は県公連の意。

集計結果では、大部分が、県教委又は県公連が研修を実施すべきとしていることが分かる。今後は、この基礎資料をもとに、同一の研修項目・内容にあつても、県・地区・単位公民館それぞれ立場から、研修の視点を明確にする必要がある。

更に、今回の研修の「割り振り」とは別に研修の「積み上げ」方式についても検討の必要がある。このように検討する必要がある多くの問題を整理し研修の効率化を真剣に考えなければならぬ問題として提起する。驀然たる意見の展開を期待する。

公民館職員研修の内容

Table with 4 columns: 研修項目, 研修内容, 各公民館, 地区公連, 県公連, 合計. It lists various training topics like '生涯教育と公民館', '公民館の歴史', '社会教育関係関係法規', etc., with corresponding counts for each category.

全国公研集会家庭教育部会

発表は樋口栄子氏
司会は小林敬子氏



樋口氏



小林氏

来る十一月九・十日に、全国公民館研究集会が埼玉県大宮市大宮ソニックシティを会場に開催される。

集会テーマを「生涯学習における公民館の役割は何か」におき、十八分科に分かれての研究協議と、全体会でのシンポジウムが予定されている。

このうち、第六分科会(家庭教育)の実践発表には、新潟市西地区公民館社会教育主事の樋口栄子さんが、司会には同じ新潟市坂井輪地区公民館社会教育主事の小林敬子さんが当たることになった。

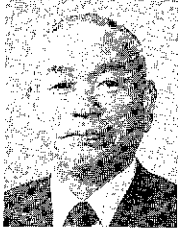
従来、発表者のみ派遣するのがたて前であったが、今回は関東甲信越静ブロック内で行なわれることから、協力態勢をとったものである。樋口、小林両氏とも同一市内の気心の知れた仲であり、家庭教育に関しては高い成果をあげている実践家でもあるから、充実した分科会討議がなされるものと期待が寄せられている。

辛口

我が国の経済や文化の東京一極集中に対する地方の不満や苦悩が叫ばれ出し、て久しい。

政府の打ち出す対策も期待するほどの効果があがらない。

若者の流出や、人口



の高齢化によって活力を失ないかけている地域社会に活力を取り戻すためには何をしなければならぬのであろうか。

いま、全国の市町村で「ふるさと創生一億円」の使途をめぐって熱いとり組みが展開されており、まさに全国の知恵くらべの感がある。

まちづくりと公民館
堀之内町長 大 淵 靖 二

住民が自らの問題として、自ら考え、自ら行なう地域づくり、自分のことは自分でという住民の自治能力の啓発こそ公民館活動の原点ではなからうか。

ふるさと創生事業は、住民が自ら考え自ら行なう地域づくりまちづくり事業であるところに意義があり、その結果よりも事業決定に住民がどうかかわ

(県公振連 理事)

結果よりも過程を
県大会を顧みて

さる七月七日、長岡市立劇場を会場に第40回県公民館大会が開かれ、午前中に行なわれたパネル討議に私はパネラーとして登壇させていただいた。

このパネル討議の主題は「明日の公民館を考える」であり、内容としては「公民館の今日的課題」と「明日への方策」であった。

続公民館日記(4)

この日、パネル討議後の四人のパネラーの共通した所感は、「発表に対する会場の反応がよくて、とても発表し易かった」ということであつたが、四回もの事前打合せを開かれた主管メンバーたちの熱意が、会場の雰囲気をもたらし、盛り上げたのではないだろうか。

(柏崎市中央公民館 元事務長)

現役の公民館職員であつた頃は「公民館の仕事は、ただ単にやりさえすればよいのではなく、それが教育的に評価されねばならないところに、最も重要なポイントがあり、そのためには結果よりも過程が重視されなければならない」と、自分で言い聞かせるような気持で部下職員たちに向けてきたが、このたびの大会におけるパネル討議は、まさしくこの考え方を具現されたかの感がし、ご苦労下さつた長岡市中央公民館職員各位に心から敬意を表したいのである。

お年寄りにやさしく手をかす思いやり (高齢者交通安全旬間)

一、学習プログラムの開発

1 新井市の山城フェスティバル

新井市では、生涯学習推進のまちづくり」に、古里を知ることに、古里への誇りと愛着を持たせることによって、より確かなより強固な地域づくりを狙い、郷土の歴史を学ぶ学習プログラムを工夫した。(表1を参照)

この学習プログラム策定の背景に次のことがあった。
①上杉謙信ゆかりの三山城にそれぞれの保存会があるが、これまであまり相互の交流は

なかった。

②詩吟・俳句等の文化団体は数多くあり、活発な活動をしているが、相互の交流は必ずしも密接とはいえない。

このことから、各団体間の相互交流や相互連携により、占里づくりへの戦力にしたかった。

このイベントの特色の第一は実行委員会に、三山城保存会・文化団体によって、自主的に企画運営にあたってもらったことである。第二は、「山城を偲ぶ会」と「ミニシンポジウム」の二つがメインイベントであるが、単なる一発花火に終わらせないために、一週間にわたる「戦国

時代展」の開発や「飯山街道を歩く」「団体の交流会」などの開催で継続による学習の成果を期待するという細心な配慮がなされてきたことである。

その成果は予想を遙かに上回るものがあつたと、担当の高波孝副参事、高橋勉社会教育主事の二人が口を揃えて高く評価していた。

「三山城への理解と郷土意識の高まりはむろんのこと、「保存会の相互交流が活発化したこと、文化団体自身の学習活動が盛んになったことと、交流活動が活発になったことだ」といふ。この成果により、平成元年度

は、さらに充実したプログラムにして実施するとしている。また、冬季のイベント「ホワイトフェスティバル」(これ自体は数年実施している恒例のイベント)の内容に山城の砦をつくるなど「山城フェスティバル」の再現をはかっているという。このように一つのイベントから次のイベントへと点から線に繋いでいく配慮が、郷土愛を根底に据えた地域づくりを容易にし、生涯学習社会の基盤づくりになるだろうことが信じられる。

2 三条市の成人大学講座

三条市の中央公民館では、以

前から新潟大学との提携によって「市民大学講座」の名称による大学開放講座を開設し、ハイレベルの文化講座を実施してきた。その実績に基づいて、単に個人教養としての講座だけでなく、生涯学習の基盤整備として、地域社会(生活)と結びついた講座の必要から、生涯学習のまちづくり推進記念講座」と銘うって「造園の歴史と現代」「三条再発見セミナー」の二講座を開設した。

「造園の歴史と現代」

地場産業としての造園業にちなみ、市民の専門的かつ高度な学習要求に応えるため、生活環境を造園の歴史と現代の中にとらえる」ことにおき一般人を対象として開設。(表2の学習プログラムを参照)

進と公民館(4)の提供(上)

〈表1〉

事業名 山城フェスティバル…新井市		
ねらい 戦国時代の武将上杉謙信にゆかりの深い山城や館跡などが豊富なことから、鯉ヶ尾城跡(県指定史跡)鳥坂城跡・猿橋城跡(市指定城跡)を題材にした各種学習活動、文化活動を通して、古里新井を再発見し、郷土愛によるまちづくりをすすめる。		
事業名	月日	事業内容
1. 山城を偲ぶ会	7月30日	鯉ヶ尾・鳥坂・猿橋の三城で各種事業を実施し、戦国時代を偲ぶ。 ・かがり火・山城講演会 ・詩詠、句会等 ・戦国料理での宴
2. 謙信・信玄ミニシンポジウム	7月31日	県内謙信研究者と県外信玄研究者により「両者の人となり」などについてミニシンポジウムを実施し、川中島の合戦を新井市で再現する。
3. 飯山街道を歩く		国道292号線ぞいに残る旧飯山街道を歩く。あわせて飯山市との交流を深める ・講演会 ・交流会 ・その他
4. 戦国時代展	7月26日から1週間	市内の戦国時代に関する資料を特別展示する。
5. その他		各種事業の実施に伴い、関連する意識啓発の事業を実施する。

受講者三十八名のうち造園専門職十五名が参加したという。講師が世界の各国を歴訪して撮影してきたスライドや写真などの視聴覚教材を駆使しての具体的な指導や、実地見学を加えての学習によつたことなど、受講者の望んだ学習内容に適合した学習プログラムであったことと共に、指導講師が最初から最後まで一貫して一人の指導者(新潟大学の専門教授)にしたことが好評だったという。講師と受

安全はゆるずる気持と待つゆとり (秋の全国交通安全運動)

〈表2〉市民大学講座 三条市

講座名	生涯学習のまちづくり推進記念講座 「造園の歴史と現代 —人間はいかにして住みよい 生活環境を創ってきたか—」		
内容	講師が実際に撮影した、日本やヨーロッパ・アメリカの庭園や公園の豊富なスライド写真を中心に、造園の歴史と現代を学びます。		
日程	9/6(火)	はじめに(人間・自然・造園)	
	9/13(火)	海外の造園の歴史I(ヨーロッパを)	
	9/20(火)	〃 II(ヨーロッパを)	
	10/4(火)	日本の造園の歴史I(先史から桂離宮)	
	10/11(火)	〃 II(桂離宮)	
	10/18(火)	〃 III(桂離宮以後)	
	11/1(火)	現代の造園(現代の庭園・公園)	
	11/8(火)	まとめ、これからの造園空間	
講師	新潟大学工学部 鈴木 哲 氏		
時間	午後7時30分から		
定員	40人		

〈表3〉生涯学習総合講座 蒲川原村

事業名	生涯学習総合講座		
ねらい	年齢領域にとらわれない学習内容から、幅広い知識を学ぶとともに、自主的な生涯学習の大切さを認識する。		
対象	青壮年・婦人		
回	日 時	内 容	
1	6月18日(日) 19:30~21:30	家庭の教育力を再向上させるための親としての役割	
2	7月11日(日) 19:30~21:30	自らの健康管理の必要性和家族の健康管理	
3	8月1日(日) 19:30~21:30	いざというときのために日常の中の豆知識	
4	9月12日(日) 19:30~21:30	音楽と情操形成 生演奏を聴いて、音と情操のかわりを知る	
5	10月17日(日) 19:30~21:30	村の財政状況と今後の計画	
6	11月14日(日) 19:30~21:30	上杉謙信の人間像とむらの歴史を知る	
7	12月12日(日) 19:30~21:30	命・こころ・文化の尊さ、大切さを再認識する	
8	1月9日(日) 19:30~21:30	高度情報化社会の中、一般家庭で利用できる情報提供システムを知る	
9	2月13日(日) 19:30~21:30	マスコミで流行している現代用語の基礎知識を知る	
10	3月6日(日) 19:30~21:30	人権擁護と正しい同和について知る	

シリーズ 生涯学習の推 実践 学習機会

講者との人間的なつながり深まるなど、予期した以上の成果を得ることができたという。市の造園組合からは、次回の講座開設に積極的な協力が約束され、当初の狙いとした地場産業の活性化とまちづくりに大いに役立ったという。

「三条再発見セミナー」

古里三条を、さまざまな角度から見直し、郷土の理解を深め、新しいまちのありかたを考えることを狙うとともに、仲間づくりを進め、生活の充実と社会参加を促すことを狙ったもので一般成人を対象にして開設した講座である。

学習の内容には、市の歴史、

町名の由来、景観、方言や市民性、良寛との関わりなどを取り上げたことで、これまで知らなかった三条、気づかなかった郷土の良さを発見することができた、これまた好評を博した講座だったという。

この二講座とも、新規の事業でいわば試行錯誤で開設したものであるが、予期以上の高い成果を得たので、今年度も継続して、より一層手を加えて充実したものにしたと、学習プログラム開発に直接関わった社会教育課の金子正典社会教育主事と中央公民館の渡辺健主事が抱負のほどを話してくれた。

二、勤労者のための学習機会の提供

1 蒲川原村公民館の生涯学習総合講座

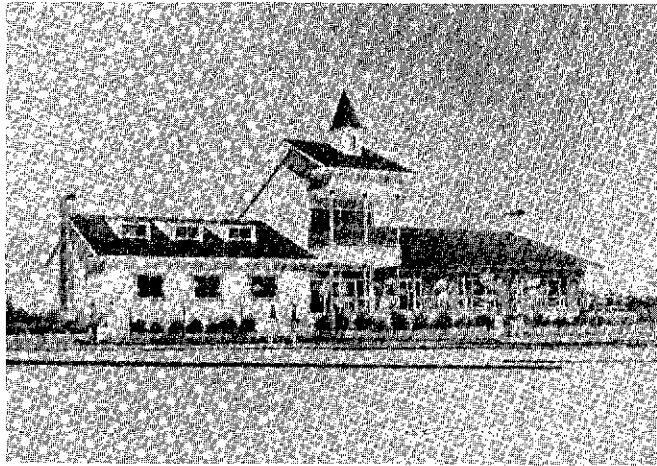
蒲川原村公民館では、「生涯学習総合講座」を開設して男子成人(勤労者)の学習参加に成果をえている。

この講座を開設した意図は、生涯の各時期の中で、成人男子の学習参加が少ないことが以前から課題となっていた。勤労の主力世代であり、この世代のニーズに対応するには公民館自体にも多くの問題があった。いきおい、学習機会の提供にも欠落をきたしていたものである。そこで、村づくりの主役は壮

年にあることから、村づくり年づくりの主力となつてほしいという願いをこめて、壮年度の学習参加にターゲットを絞ったものである。

そのための工夫をしたのが「総合講座」である。一般に住民の学習要求は多様化しているので、講座等は分化・専門化する傾向が強いなかで、あえて総合的な講座を開設したのは、①多世代間の交流によるボランティアに富んだ学習内容にしたかったこと、②夫婦ともに学ぶことによる学習の継続への期待、などにより学習意欲の継続を配慮した学習プログラムになっているところにある。

(表3参照)



能 生 町 公 民 館

実践記録シリーズ

青年会と青年館と

能生町青团連の場合

(34)

近年市町村の青年団(体)はまことに数少ない存在となつていゝ。それでいて、青年の数が少なくなつたの

かというと必ずしもそうではない。こうした数少ない青年団(体)の一つに能生町の六青年会とそれを束ねている能生町青年団体連絡協議会がある。

その活動について、紹介してもらつた。

一 概要

能生町青年団体連絡協議会(以下、青团連)は、一九七三年七団体の参加をもつて活動が始まつた。活性化する青年会、衰退する青年会など、出入りもあつたが、現在は表1のように六団体で構成されている。年間活動は表2のようになつてゐる。一見あまり活動が無いように見えるのは、「青团連」として取

表 1

能生町青团連	青年協	青年会	青年会	青年会	青年会	青年会
中能生青友会	西部青年会	中央青年会	東部青年会	藤崎青年会	簡石青年会	年議

り組む行事は必要最少限度として地区青年会の活発な活動を推進する。」という、基本的な活動方針のためである。

表 2

- 青团連年間事業
- 定期代議員会
- 役員交流会
- 町長と語る会
- 青年親善
- ソフトボール大会
- 青团連
- ボーリングの日
- パレーボール大会
- 青年交流会

この基本的な活動方針をうち

立てたのは、青团連結成以来十五年余り続いている活動の中で、施行錯誤を繰り返した結果得られたものである。

つまり、青团連が多くの事業を抱えこむことは、地区の青年会が地区の事業に取り組む時間を削ることになる。それでは、地域に根ざした活動を目指して「地域の若者が全員参加しよう」という青年会の基本的な課題に取り組めないことになる。その意味で青团連としては年に一つだけ町全体を対象とした大きなイベントに取り組み、それ以外の活動は地区青年会の活動としてゐるものである。

二 館の完成

昨年十二月四日、若者待望の城「青年の館」が、町当局のご好意により能生町を一望する布引台地に完成した。計画の段階では多くの青年の意見が集められ、建設にも青年の力を結集した。

広いホール、そしてログハウス、ペーパーミントグリーン屋根に覆われた景観は、国道八号線からも見え、若者をひきつける力を持っているようだ。

しかし、青年の館が生きるか死ぬかは、これからの利用方法に掛つて来るはずだ。開店休業状態では、せっかくの施設が無駄になつてしまふ。青团連に与えられた最大の課題は、いかに多くの若者に、この館を利用してもらうかだ。青年の館を中心としたイベントを考えて行かなくてはならない。

昨年度は三月に、「若いしょの、ここだけの話」と名づけた座談会を行なつた。今年度は、八月六日、町の花火大会に合せて、TVでおなじみの「ねるとん紅鯨団」の類似企画、「ねるとん紅ずわいがに団」を実施した。青年の館が若者の巣として益々発展していくように、これからも数々のイベント・PRに努めていかななくてはならない。

三 むすび

などと、ここまで読むと、どの町だろう、非常にいい町だなと自分でも感心してしまう。しかし、悩みが多いのは、どこでも同じだ。カウチポテト族とよばれる若者は、都会だけの専売特許ではない。「青年会なんて、ださいよ」「暗いんだもん……」家でビデオ見ると活発に活動するのと、どっちが暗いんだろ? ださいんだろ? と考えながらも、そんな青年たちを仲間に加えようと、日夜努力しているのです。

(能生町青团連広報担当記)

分水町子ども会連絡協議会 創立十周年記念誌

分水町子ども会連絡協議会から、このほど十周年記念誌の恵贈をうけた。

A4判、50ページからなるもので、絵で見る十周年の記念誌ともいべきもの。十年間の各年度ごとの歩み、単位子ども会の紹介、十周年記念式典の三部で構成された素晴らしい記念誌である。

分水町子ども会の活動は、その充実している点で、つとに全県的に名の知れているところであり、充実した活動の様子が紹介されている。

この分子連協議会は、現在八地区二十四支部、四百四十人の子どもたちと、三百人の育成者・指導者で組織されているという。活動の特色は、小学校五年生の児童を主とするリーダー養成に力を入れていることだといふ。年四回にわたり、仲間づくり・宿泊研修・キャンプ実習・マナー実習を計画的に実施し、参加リーダーが各単位子ども会に研修の成果をあげている。子どもたちの自主性育成を目指し「手を出さず、目を放さず」をキャッチフレーズにしている。

いう。

先般実施された、第40回県公民館大会でのパネル討議において、パネラーの多田隆三氏が、公民館は子ども会と学校との橋渡し役をしてほしいと言っていた。学社連携のかなめの役を提唱していたことを思い出す。

(上)

聖籠町で交通事故体験文集を刊行

新潟県の交通事故、とりわけ死亡事故件数の増加は重大な社会問題である。

折りしも、今月は十一日から二十日まで、高齢者交通安全旬間、続いて二十一日から三十日まで秋の全国交通安全運動が展開される。

公民館界でも等閑に付するわけにいかないと考えていた矢先、ユニークな交通安全運動の

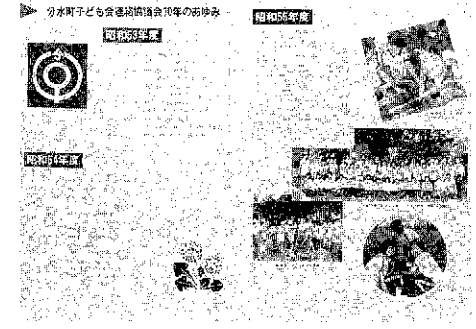
情報を入手した。

「交通安全体験文集」を刊行し全戸に配布している。

文集は、B5判30頁で、成人の体験者の文章であるだけに、事故当事者の悲惨な状況が生々しく書かれている。加害者被害者双方の、生命や家庭崩壊の問題など一読で胸に迫ってくる。

なお、この文集には、体験文のほか、町内事故件数・発生場所・理由など地図や表を用いて詳細に説明してあり、住民にとって、得難い啓発資料である。

(上)



新潟市西地区公民館主事

本望 英紀氏 (49歳)

大きな体に太い肩。黒ブチ眼鏡のマルチ人間、本望さん。趣味の範囲は、アウト・ドアーからイン・ドアーと多種にわたる。今やっていらっしやることは？



「登山、刀剣、刀装具鑑賞および収集、居合道、裁断道、山野草栽培、写真撮影(焼き付け)古文書、社交ダンスです。」

「いえ、いえ。毎口感しています。錯乱状態ですわ。ストレスを感じたときは、体を動かして、趣味の本を読んで悩みを忘れるようにします。」

「手ごたえのあった仕事は？」
「先輩から引き継いだウォークラリーです。全国一斉ウォークラリーよりも一年先輩で、毎年七百人もの人が参加します。」

「趣味を持ちたいと思っっている人にアドバイスを
「趣味とは、まず興味をもつこと。好きになること、続けることです。」
(新潟市東地区公民館 小川昇記)

素顔拝見

新潟市石山地区公民館主事補

主任 長谷川文字さん(27歳)

トレンディーな中に、しっとりと落ち着きを感じさせる長谷川さん。芳紀まさに二十？歳。新潟市公民館のマドンナです。

「コンニチハ、二年過ぎて職場の印象は？」

「自分の思った通りの仕事ができる反面、自分の考え一つでこたが決まってしまうようなところが怖い。押しつけにならないよう気をつけています。」
「ストレス解消法は？」
「友だちと食べたり、飲んだり

おしゃべりしたりです。」

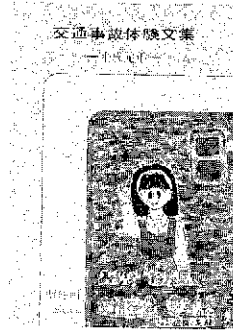
「自分の性格判断を
「一見おとなしそうですが、慣れれば、本当はおしゃべりです。」



高野昭彦館長からの一言。
「利用者の受けはバツグン。気がきくんです。今後は、多くの経験を積んで幅の広い職員になってほしい。楽しみにしています。」

一言一言真剣に答えてくれる姿に誠実さを感じました。ありがとうございます。
(小川昇記)

(小川昇記)





社会教育主事等研修会専門コース

生涯学習セミナー開催

特別講演には

曾野綾子氏

県教育委員会では、国立教育会館社会教育研修所と共催で、「生涯学習セミナー」を開催する。

これは、市町村社会教育関係職員の資質・指導力の向上を図るために必要な知識・技能を身につけることを狙ったものである。なお、最終日は一般公開とし、曾野綾子氏による「教育における勇気」という演題の特別講演が予定されている。

○期間 平成元年十月二十五日(水)～十月二十七日(金)
○参加対象
(1)社会教育行政・施設職員
(2)社会教育指導員、社会教育委員、公民館運営審議委員
(3)市町村長部局及び民間の生涯学習関係機関の職員等
(4)青年団体、婦人団体、高齢者団体等社会教育関係団体のリーダー及び一般人
○定員 二百人
○会場 万代シールホテル
東映ホテル(27日のみ)

○参加申込み

市町村教育委員会から、各教育事務所へ9月27日まで申込むことになっているので各市町村教委へ問い合わせられたい。

○宿泊等

一泊朝食は六千円(万代シールホテル)
第一回懇親会費は五千円

「生涯学習セミナー」日程

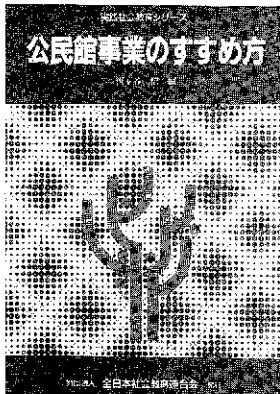
9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	会場
10:45	10:45	10:45	10:45	13:30	13:30	13:30	16:00	17:30	17:30	17:30	会場移動
十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	十月二十五日(水)	万代シールホテル
10:45	10:45	10:45	10:45	13:30	13:30	13:30	16:00	17:30	17:30	17:30	会場移動
十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	十月二十六日(木)	万代シールホテル
9:30	9:30	9:30	9:30	12:15	12:15	12:15	12:15	12:15	12:15	12:15	新潟東映ホテル
十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	十月二十七日(金)	新潟東映ホテル

公民館事業のすすめ方

西ヶ谷 悟 編

財団法人全日本社会教育連合会

推薦図書



生涯学習体系への移行の中で、公民館は地域住民の生涯学習の機会を保障する中心的な施設として各方面から多大の期待が寄せられている。
本書は、その期待に応えるべく、六つのテーマについて、それぞれ学者・実践家によって説かれている。そのテーマは、
一、公民館の今日的意義
二、公民館事業の企画
三、新しい学習プログラム開発への挑戦
四、公民館学習の権造化
五、公民館広報の望ましいあり方
六、住民の求めている公民館主事
七、公民館職員への期待からなっている。
(A5判・四二頁、定千円消費税は外税お中し込みは送料実費を含めて県公連事務局へ)

あとがき

◆全公連では、去る六月の総会以来空席になっていた会長に、このほど吉里邦夫氏が就任された。
◆吉里氏は元文部省社会教育局長で、社会教育行政に精通の人現在では日本女子社会教育協会理事長。
公民館の活性化のために、力を発揮してほしいものである。
◆全公連主催の全国公研集会在大宮市で開催されることは案内済み。すでに申し込み締切りは過ぎているが、主管(埼玉県公連)では、九月二十日ころまで申し込みを受け付けている。開催要領は市町村公民館にも配布してあるが、当県公連事務局にも残部少々あり。問い合わせられたい。(上村)

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 木下清一

編集人 事務局長 上村捨二郎
【定価1部120円 年共1,440円】